

BLuE連携 ご利用ガイド

2025年9月

株式会社MetaMoJi



MetaMoJi

※測定記録支援システム「BLuE」およびBLuE App(BLuE for iPad)は、株式会社関電工の商標です。

目次

1. BLuE連携の概要
2. BLuE for iPadと接続
3. 入力方法について
4. 手動入力による計測データ入力
5. スマート入力について



注意 BLuE連携ご利用に係る注意事項

- 最新バージョンの各アプリをご利用ください。
 - BLuEApp (BLuE for iPad v1.9以降)
 - eYACHO for Business 7
 - eYACHO Viewer 7
 - GEMBA Note for Business 7
 - GEMBA Note Viewer 7
- BLuE連携は、iPadのみ対応しています。
(Windows/Android版アプリおよびiPhoneはBLuE連携に対応していません。)
- BLuE連携の利用には、スタンダード版以上のeYACHO/GEMBA Noteライセンスが必要です。

1. BLuE連携の概要

BLuE連携は、測定記録支援システム「BLuE」から測定データを帳票に直接入力することで現場業務の転記ミスと手間を削減できる、eYACHO/GEMBA Noteの業務効率化支援機能です。



(参考帳票)
一般社団法人 日本建設業連合会
「電05照度一般」

多彩なBLuE対応機器

接地抵抗計 クランプメータ デジタルマルチメータ
風速計 風速温度計 コンセントテスタ 電力量計
温度計 温湿度計 騒音計 室内環境測定セット
デジタルノギス デプスゲージ デジタルインジケータ 等

※計測機器の接続設定は、BLuE for iPadの操作説明書をご参照ください。
※接続にアダプタが必要な計測機器があります。
詳細は機器メーカーのWebサイト等でご確認ください。

2. BLuE for iPadと接続

(1) BLuE連携の有効化

本ガイドではeYACHO/GEMBA Noteの操作について記載いたします。
 あらかじめBLuEAPPのインストール、設定を完了しておいてください。



① 「三」メニューを開く。

② 「BLuE連携を有効にする」を
タップする。

③ BLuE連携アイコンが表示される。

 「2 (2) BLuEとの接続」に進みます。

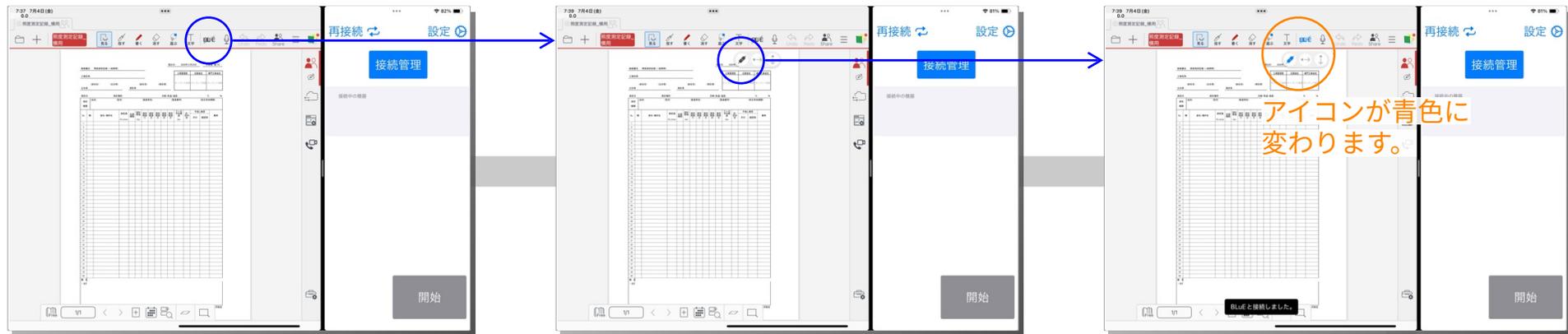


BLuE連携機能の利用にはスタンダード版以上のライセンスが必要です。
 メニューに「BLuE連携を有効にする」が表示されない場合は、付与された
 ライセンスをご確認ください。

2. BLuE for iPadと接続

(2) BLuEとの接続

BLuEと接続している間は、SplitViewまたはSlideOverでeYACHO/GEMBA NoteおよびBLuEAppを並べて表示させる必要があります。



注意



どちらかのアプリをフルスクリーン表示すると、接続が解除される可能性があります。
BLuE連携利用中は常に2つのアプリを表示させてください。

BLuE連携による入力が行えます。

3. 入力方法について

(1) 計測データの連携方法と対応ユニット

BLuE連携では、「手動入力」と「スマート入力」の2種類を用意しています。それぞれの特徴を以下に記載いたします。

		手動入力	スマート入力 (※)
ユニットへの入力	1行テキストフィールド	対応	対応
	数値フィールド	対応	対応
	バーコードフィールド	対応	対応
	表ユニット	対応	
	図面ユニット		対応

※帳票の作成には開発ツールオプションが必要です。

手動入力のご利用について

 「4. 手動入力による計測データ入力」参照

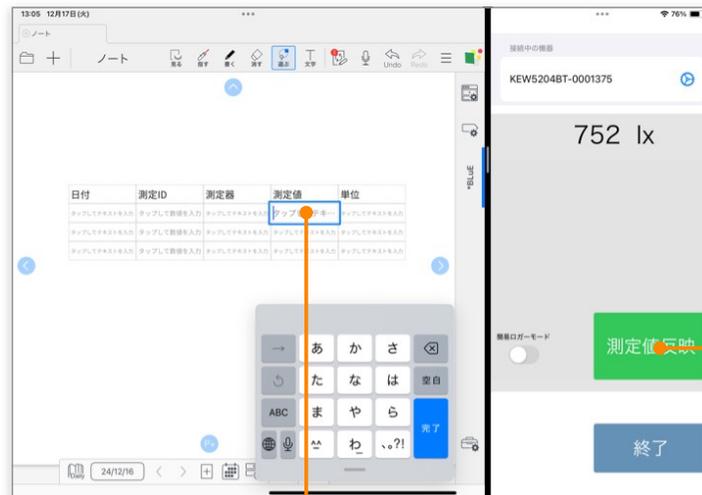
スマート入力のご利用について

 「5. スマート入力について」参照

3. 入力方法について

(2) ユニットへの入力操作

BLuE連携では、BLuE for iPad側の操作により、eYACHO/GEMBA Noteの帳票に値をセットします。



①値をセットするユニット（図面ユニットの場合はピン）を選択

②BLuE for iPad (BLuEApp) の測定値反映ボタンを押下して値をセット

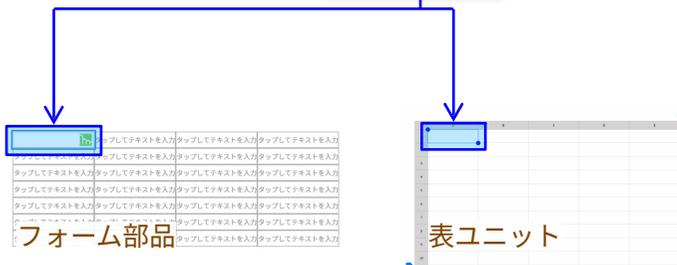
ポイント 測定器本体のボタン操作で値をセットできる機器もあります。
➡ ※詳細はBLuE for iPadのリファレンスをご確認ください。

4. 手動入力による計測データ入力

配置したフォーム部品、表ユニットにBLuEAppからデータをセットします。
BLuEAppの「測定値一括出力」のON/OFFにより、動作に以下の違いがあります。

複数値一括OFF

代表値が連携されます。



複数値一括ON

一括出力設定に従って連携されます。
(入力先によって挙動が異なります。)



5. スマート入力について

eYACHO/GEMBA Noteの開発ツールオプションを利用することで、BLuEAppから送信された測定データを活用するスマート入力対応のパッケージを開発することができます。業務パッケージ「BLuE連携：設備工事検査記録」の照度測定帳票を例にとり、スマート入力で実現できる業務効率化の一例を紹介します。

パッケージ設計における運用想定

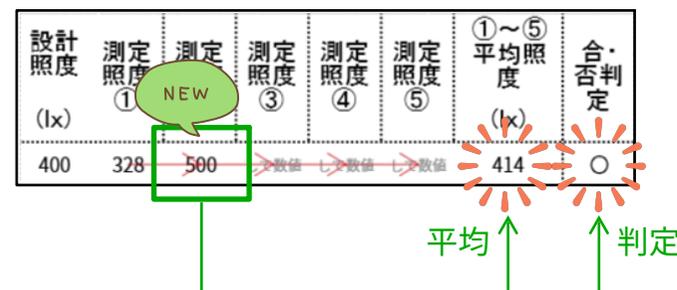
部屋ごとに5点の照度を測定し、単純平均で設計照度を満たせば合格とする。



部屋の測定を1行に記録し、①～⑤は図面記載の箇所に対応させて記録する。

光源種類	設計照度 (lx)	測定照度①	測定照度②	測定照度③	測定照度④	測定照度⑤	①～⑤平均照度 (lx)	合否判定	手日
LED	400	328	500				414	○	

「スマート入力」の実装機能



👉 「スマート入力」による測定の後続処理として平均照度の算出と合否判定を一度に行います。



業務パッケージは無償でご利用いただけます。詳細は弊社Webサイトでご確認いただけます。



<https://product.metamoji.com/gemba/eyacho/topic/smart-package.html>

5. スマート入力について

開発ツールオプションをご利用のユーザー様もしくはベンダー様による、スマート入力を利用した自由なパッケージ開発が可能です。

フォーム部品へのスマート入力は、値をセットした後に平均値の算出や合否判定を行うための後続処理を実行でき、高機能な帳票を作り上げられます。

		スマート入力	(後続処理の実行※)
ユニットへの入力	1行テキストフィールド	○	○
	数値フィールド	○	○
	バーコードフィールド	○	○
	表ユニット		
	図面ユニット	○	

※後続処理は、単体では実行されません。



スマート入力に対応するパッケージ開発を、弊社で受託させていただくこともできます。
開発ツールオプションのお申込み、受託開発のご相談は、担当営業までお気軽にご相談ください。